

市政に対する一般質問一覧表

平成25年第2回定例会

質問順位 1

議席番号 8番

氏名 太田博之

質問時間 15分

| 質問事件 | 質問の要旨 |
|---------|---|
| 1. 基地問題 | <p>新鋭ステルス戦闘機F-35Aの配備について</p> <p>F-4戦闘機の後継機としてF-35A戦闘機が選定され、国では平成24年度以降、42機を取得し平成29年度以降随時配備されることになっているが、市長はF-35A戦闘機の配備についてどのようなお考えであるか伺いたい。</p> |
| 2. 教育問題 | <p>通学路の安全対策について</p> <p>昨年の5月より文部科学省と国土交通省、それに警察庁が全国の公立小学校などの通学路を緊急点検したところ、安全対策が必要な箇所は7万4400箇所に上りました。当市においても、32箇所を抽出し順次対策を進めているところですが、以下の項目について伺いたい。</p> <p>①子ども達の通学路における実態調査の現状について。</p> <p>②スクールゾーンの設定状況について。</p> <p>③県道八戸野辺地線における安全対策の現状（県要望等）について。</p> |
| 3. 選挙問題 | <p>若者の政治、選挙離れ（投票率）の問題について</p> <p>市民の政治や行政への関心の低さから、選挙の低投票率の問題は危機的であり、取り分け若者の政治離れが深刻化している。</p> <p>そうした中、「未成年者の模擬選挙（投票）」に取り組む自治体が増えているが、当市においても協働のまちづくりを実践する中で有効な取り組みだと考えるが当局のお考えを伺いたい。</p> |

質問順位 2

議席番号 5番

氏名 瀬崎雅弘

質問時間 15分

| 質問事件 | 質問の要旨 |
|------------------------|---|
| 1. 三沢市中心市街地活性化基本計画について | <p>三沢市中心市街地活性化基本計画について以下の点について伺う。</p> <p>①本計画の変更について、事業実施主体の決定や拠点施設の外観の変更等を受け、基本計画の一部が変更されたとあるが、計画変更に至った経緯とその具体的な内容について。</p> <p>②平成24年度末における中心市街地活性化基本計画に定めたそれぞれの目標指数の達成状況及び今後の見通しについて。</p> <p>③変更した計画を含め、今後の中心市街地活性化に向けた方針及び施策等について。</p> |

| | |
|-------------------------|---|
| 2. 三沢市災害時要援護者避難支援計画について | <p>三沢市災害時要援護者避難支援計画について以下の点について伺う。</p> <p>①現在の高齢者及び障がい者の要援護者の方々のそれぞれの登録者数について。</p> <p>②要援護者として登録した場合としない場合での相違点について。</p> <p>③要援護者の登録者数を増やす為に、現在、実施している活動状況について。</p> |
|-------------------------|---|

質問順位 3

議席番号 9番

氏名 野坂篤司

質問時間 20分

| 質問事件 | 質問の要旨 |
|------------|--|
| 1. 合併問題 | <p>平成の大合併は、平成22年3月末をもって政府主導による合併推進は一区切りとするべきとの答申が決定されたが、三沢市の10年後20年後を考える上で「おいらせ町」との合併は避けて通れない問題になると思います。</p> <p>そのことを踏まえ次の3点を質問いたします。</p> <p>①栄町と南町に挟まれたおいらせ町の住吉地区境界線は、いつの時代にどのような状況で決定したのか伺います。</p> <p>②市では長靴型の状態を解消するためにどのような努力をしてきたのか。また今後、長靴状態を解消するための施策を考え、実行していくのか伺います。</p> <p>③三沢市は、おいらせ町との合併をどのように考えているのか伺います。</p> |
| 2. 除雪・排雪問題 | <p>三沢市でも高齢化が進み、除雪よりも排雪の問題が多く聞かれるようになりました。</p> <p>特に、住宅地での除雪・排雪に対し伺います。</p> <p>①除雪や排雪の出動及び作業基準がどのように定めてあるのか伺います。</p> <p>②除雪より排雪の経費が多いことがわかりますが、三沢市全体を年1回排雪するとしたらどのくらいの予算が掛かるのか伺います。</p> <p>③年2回クリーン作戦がありますが、年1回でも「排雪の日ホワイト作戦」等を市民と協働で企画する考えがあるのか伺います。</p> |
| 3. 教育問題 | <p>政府の「教育再生実行会議」がまとめた提言案に、外国語の教育に熱心な高校を「スーパー・グローバル・ハイスクール」（仮称）に指定し、支援を強化する一方で「世界で活躍できる人材の輩出を目指し、5年間で100校の指定を目指す」と発表しました。つまり、各県に最低1校の指定がある訳です。</p> <p>三沢市は青森県と協働し、三沢高校を「スーパー・グローバル・ハイスクール」に指定されるよう実現提案するべきと思いますが、考え方を伺います。</p> |

| 質問事件 | 質問の要旨 |
|---------------------------------|---|
| <p>1. 政治姿勢問題</p> <p>2. 行政問題</p> | <p>1. 「基本理念」への取り組みについて</p> <p>本市は、「人とまち みんなで創る 国際文化都市」の建設を目指しているが、「街づくり」はその街の特色を生かし、市民と行政が一体となって創意工夫を凝らして実行する共同作業であります。だが、その成果は一部を除いて思うようになっていない。</p> <p>市長は、三沢市総合振興計画後期基本計画の実行において、地域の風土や歴史に培われた特色をすべての行政部門の施策へ向けて、市民参加をどのような形で求め実施される計画か伺いたい。</p> <p>2. 中心市街地活性化計画について</p> <p>近年、街と街の「都市間競争」が激しくなっています。魅力ある街に人々が溢れ、ない街は閑古鳥が鳴く。しかも、街の「発展プラン」が何もない所に「発展の道」はありません。</p> <p>かつて栄えた本市の商店街が、なぜ衰退が進むか。それは魅力の低下に他なりません。</p> <p>交通問題並びに駐車場施設の不備に加え、大型店の進出や商店会組織の力量低下が上げられます。</p> <p>本市の中心商店街の復権を図るには、まず交通の利便性や安全性の環境整備が重要であります。</p> <p>そのため、未整備の県道三沢十和田線の拡幅を図るべきと考えるが、その取り組みを問う。</p> <p>国際交流推進への取り組みについて</p> <p>①姉妹都市交流事業について</p> <p>この度、市長を団長に議員をはじめ、中学生姉妹都市交流使節団を組み、ウェナッチ市民との交友を深められたと聞き及んでいます。今回どのような姉妹都市交流の成果が上げられたか伺いたい。</p> <p>②ウェナッチ市との交流事業の進化と課題について</p> <p>本市とウェナッチ市との交流は異文化との出会いや交友及びお祭りという儀礼的活動が中心である。このパターンの繰り返しでは、姉妹都市交流活動の発展性が期待できなくなる恐れがあります。今後は「交流から創造」へと姉妹都市交流を進化させていくことが重要と考えます。</p> <p>本市とウェナッチ市との新たなる姉妹都市交流の取り組みについて伺いたい。</p> |

| | |
|--|---|
| | <p>③国際交流と人材育成の基盤整備について</p> <p>国際化時代を迎え、外国文化に接する機会が増え、英語は世界共通語として文化交流の主軸になっている。本市では、これまでの文法や解釈中心の英語教育から、幼い頃から聞ける、話せる英会話に慣れ親しみ習得させるため小学生から実施してきました。</p> <p>しかし、本市が目指す国際交流型学園都市構想の国際高等教育機関の設置が遅々と進んでいません。長い間、青森県に重点要望してきているが、今まだ実現の見通しが立っていないのが実情である。</p> <p>今後の本市の取り組みについて問う。</p> |
|--|---|

質問順位 5

議席番号 4番

氏名 奥本 菜保巳

質問時間 20分

| 質問事件 | 質問の要旨 |
|-----------------|--|
| 1. 基地問題について | <p>1. 米軍機飛行訓練による騒音被害の現状と対策について伺う。</p> <p>2. 最近、F35戦闘機配備やオスプレイ三沢使用の可能性、最新鋭無人偵察機グローバルホークの三沢配備の報道がつづいている。三沢市にとって基地の強化につながり、さらなる基地負担が懸念される様相を呈している。</p> <p>現状をこえる基地機能強化は容認できないとする県や当市の立場からも受け入れるべきではない。当市の対応を伺う。</p> |
| 2. 就学援助体制について | <p>こどもの貧困が社会問題になっている。その支援のひとつとして、就学援助制度があげられる。貧困と格差が広がるなかで、経済的理由により、就学が困難な児童生徒の保護者に対し、学用品費や給食費などの必要な経費の援助をする制度であり、しっかりと手当しなければならない。そこで、当市における就学援助体制について伺う。</p> <p>①平成22年度から現在までの準要保護児童生徒数の推移。</p> <p>②準要保護就学援助の対象になる要件はどのようになっているか。</p> <p>③就学援助の支給内容はどのようになっているか。</p> |
| 3. 若者住宅支援制度について | <p>昨今の景気低迷・雇用形態により、低所得の若者や子育て世帯が、増加傾向にある。それによって、家賃負担も大きいものとなっている。そこで、若い単身者や子育て世帯を対象に住宅支援制度を創設してはどうか。空き家対策や若者の定住にもつながる。市の経済にもプラスになる。町内会に入会することを条件としている自治体もあり、参考にすべきと思う。当市の考えを伺う。</p> |

| 質問事件 | 質問の要旨 |
|---------|---|
| 1. 健康問題 | <p>1. 風しん対策について</p> <p>全国で風しんの流行拡大が続いており、妊娠初期の女性がかかると胎児に障がいが起こる恐れがあることから、安心して子どもを産める環境づくりのため、予防接種の公費助成についての考えを伺いたい。</p> <p>2. 子宮頸がん予防ワクチンの周知について</p> <p>今年4月から定期接種化になった子宮頸がん予防ワクチンを接種したことで、重い副作用が出ているとの報道を受け、保護者などから不安の声が聞かれている。そこで正確な情報提供が必要であるとの観点から、対応を伺いたい。</p> |
| 2. 福祉問題 | <p>「障害者優先調達推進法」の制定に基づいての調達方針について</p> <p>障がい者がつくった製品や、提供するサービスを優先的に購入するよう、国・地方自治体などに求める「障害者優先調達推進法」が4月からスタートしました。これに基づき本市では、調達方針をどのようにつくっていくのか伺いたい。</p> |
| 3. 教育問題 | <p>がん教育について</p> <p>がんに対する正しい知識と予防法の学習を学校教育に取り入れることは、子どもたちが正しい生活習慣の大切さや早期発見の重要性を学ぶことができると考え、本市の取り組みを伺いたい。</p> |

| 質問事件 | 質問の要旨 |
|---------------|---|
| 1. 高速交通問題について | <p>空の玄関である三沢空港について、三沢—大阪線が本年3月31日から再開し、また、7月からは三沢—札幌丘珠線が新規就航予定であり、今回の大阪線再開及び札幌丘珠線新規就航という絶好の機会をチャンスと捉え、更なる三沢市の発展につなげるべく、三沢空港の利便性向上と利用促進対策に積極的に取り組むべきと考えます。</p> <p>次の2点について伺い致します。</p> <p>①現状では、三沢空港までのアクセス手段としては、自家用車、空港連絡バスであり、航空機利用を促す上では、アクセス手段の充実による利便性の向上が必要であると思います。今後の具体的な取り組みは、どのように計画されているのか。</p> |

| | |
|------------------------|---|
| <p>2. 地域自主防災組織について</p> | <p>②札幌丘珠線就航予定の機材は36席と座席数が少ないが、採算ベースを考えると高い利用率が必要であると思う。当該路線並びに三沢空港発着の他の路線の維持・存続に向けた対策、あるいは臨時便等による利用促進策など、今後における具体的な取り組みはどのように計画されているのか。</p> <p>住民が「自らの地域は自ら守る」という考えに立ち、自主的に結成し、自主的に防災活動を行う任意団体（自主防災組織）、災害時に地域の要援護者の所在など地域の情報網を生かし、避難誘導や、避難所の運営などにあたる地域自主防災組織について、次の3点について伺い致します。</p> <p>①自主防災組織の組織率の現況について。</p> <p>②今国会に提出されている災害対策基本法改正案による要援護者名簿の共有について。</p> <p>③自主防災組織に対する支援状況と、町内会未加入者への対応について。</p> |
|------------------------|---|